

スコアシート						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0 建築物の環境品質・性能						3.0
Q-1 室内環境			0.40			3.0
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.29	
1 1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界床遮音性能 (軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能 (軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能 (重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.21	
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温設定		3.0	0.60	3.0	0.60	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	0.40	
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63	
1 化学物質汚染		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気	建築基準法 (シックハウス含む) を満たす風量としている。 居室の1/10以上の開閉が出来る窓を設置している。 敷地周辺を勘案し汚染源の少ない箇所から取る配慮をしている。	3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.0
1 機能性		3.0	0.40	3.0	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	1.00	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-	
1 外壁仕上材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新		-	-	-	-	
1 屋上・屋根・外壁仕上材の更新		-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		3.0	0.19	-	-	
1 空調・換気設備	評価する仕組みが1つで、中央空調換気設備を持たない。	3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	評価する仕組みが1つ。	3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	耐震クラス B。	3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.29	3.0	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり		-	-	3.0	0.50	
	1 階高のゆとり		3.0	-	3.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性	構造部材を傷めることなく、ほぼ全ての配管が更新できる。	3.0	0.17	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	4 通信配線の更新性	主要機器の更新ルートは確保しているが、更新時機能はストップす バックアップスペースはない。	3.0	0.11	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境（敷地内）			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建築物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
	2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの効率化			3.0	0.40	-	-	3.0
4 効率的運用			-	-	-	-	-
	4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源確保			3.0	0.15	-	-	3.0
	1.1 節水	主要な水栓には節水コマを取り付けている。	3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム	雨水利用の仕組みなし。	3.0	0.67	-	-	
	2 雑排水利用システム	雑排水利用の仕組みなし。	3.0	0.33	-	-	
	2 低環境負荷材		3.0	0.85	-	-	3.0
	2.1 資源の再利用効率		3.0	0.35	-	-	
	1 躯体材料の再利用効率		3.0	0.67	-	-	
	2 非構造材料の再利用効率		3.0	0.33	-	-	
	2.2 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.04	-	-	
	2.3 有害物質を含まない材料		3.0	0.08	-	-	
	2.4 既存建築躯体などの再利用		3.0	0.18	-	-	
	2.5 部材の再利用可能性		3.0	0.18	-	-	
	2.6 フロン・ハロンの回避		3.0	0.18	-	-	
	1 消火剤	クリティカルコースのみ使用。	3.0	0.33	-	-	
	2 断熱材		3.0	0.33	-	-	
	3 冷媒	ODP=0の冷媒を使用している。	3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 大気汚染防止		ガス又はばいじん濃度は基準値以下に抑えられている。	3.0	0.10	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.10	-	-	3.0
	2.1 騒音	法に定められた基準値以下に抑えられている。	3.0	0.33	-	-	
	2.2 振動		3.0	0.33	-	-	
	2.3 悪臭	特定悪臭物質の濃度の許容限度及び臭気指数の許容限度を満たしている	3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.15	-	-	3.0
	3.1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	3.2 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制			3.0	0.10	-	-	3.0
5 温熱環境悪化の改善			3.0	0.30	-	-	3.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	3.0
	6.1 雨水処理負荷抑制	評価対象外 排出基準を満たしている。	3.0	0.25	-	-	
	6.2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	6.3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	6.4 廃棄物処理負荷		3.0	0.25	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅	-	-	-	面積換分 総合スコア
		2330 m ²	-	-	-	
1 建築物の熱負荷抑制		3.0	-	-	-	3.0
3 設備システムの	ERRによる評価	-	-	-	-	3.2
高効率化	個別設備による評価	3.2	-	-	-	
3.1 空調設備		-	-	-	-	-
3.2 換気設備		1.0	-	-	-	-
3.3 照明設備		5.0	-	-	-	-
3.4 給湯設備		-	-	-	-	-
3.5 昇降機設備		3.0	-	-	-	-